



ホーチミン・パスツール研究所に JICA 技術協力によるバイオセーフティ・レベル3実験室が完成

2022 年1月 17 日

国際協力機構(JICA)ベトナム事務所

1月17日、ホーチミン・パスツール研究所(Pasteur Institute in Ho Chi Minh City、以下 PI)で、バイオセーフティ・レベル3(BSL-3)実験室*の完成式が行われました。JICA は PI が建設する実験室のうち、空調システムや排水処理システム、オートクレーブといった主要な資機材、総額2億円を支援しています。

これまでベトナムは、2003 年の重症急性呼吸器症候群(SARS)や、2004 年の高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)など、様々な新興感染症の脅威に晒されてきました。こうした高危険度病原体への安全な取り扱いと対応がベトナム自身で実施されることを目指し、日本は政府開発援助(ODA)を通じて、2006 年から、国立衛生疫学研究所(NIHE)への BSL-3 実験室の設置、PI への可搬型 BSL-3 実験室の設置とともに、その運用能力強化を支援しています。現在、実施中の技術協力「感染症の予防・対応能力向上のための実験室の機能及び連携強化プロジェクト(2017-2023)」*2では、3名の日本人専門家が、NIHE および PI に駐在し、ベトナムの主要な検査機関の能力及び連携強化に取り組んでいます。昨年の 11 月には、PI 職員に対する実験室の適切な運用に関する研修を、NIHE、日本の国立感染症研究所、PI に駐在する三木専門家が中心となって実施しています。

式典には、保健省・予防医療局ハン副局長、国立衛生疫学研究所(NIHE)アイン所長、JICA 本部がオンラインで参加するとともに、PI から、ホーチミン日本国総領事館の渡邊信裕総領事、JICA プロジェクト専門家、JICA ベトナム事務所清水所長らが参加しました。PI のクオン副所長は「実験室建設は 2021 年6月より開始された。建設中は、新型コロナウイルス感染拡大や、社会隔離による制限等、数々の困難があったが、保健省、NIHE、JICA や施工会社等の協力があって、約半年間で完成させることができた」と関係機関に対する感謝の意を述べました。JICA ベトナム事務所清水所長は、「PI の可搬型の BSL-3 実験室は広さが十分でなく、取り扱い可能な検体数が限られていた。本支援が、より一層のベトナムの感染症対応能力強化につながることを期待する」と述べました。その後、参加者全員で、実験室内部の視察を行いました。

JICA は今後とも日本政府と連携して、ベトナムの新型コロナウイルス対策の支援に取り組んでまいります。

* 1. バイオセーフティ・レベル(BSL) : 細菌・ウイルスなどの病原体を取り扱う実験室・施設の格付けで、1から4の順で病原体の危険度が高まる。

* 2. <https://www.jica.go.jp/oda/project/1600512/index.html>

○本件に関する問い合わせ

国際協力機構(JICA)ベトナム事務所

11Fl., Corner Stone building, 16 Phan Chu Trinh, Hanoi, Vietnam

Tel: (+84-24) 3831 5005 (内線 137) 担当: 高木 結実